



六ツ美北



第11代 夢おどる

史上最高の六ツ美北へ

校長 天野 孝志

「First Step 革新への第一歩！
史上最高の六ツ美北へ」

これは前期生徒会が、全校生徒の意見を聞いて立てたスローガンです。このスローガンのもと、六月に競技の部の体育大会を開催する予定でした。しかし、コロナによる緊急事態宣言が発出され、体育大会は十月に表現の部と一緒に開催されることになりました。中間テスト後から始まった体育大会の練習。わずか二週間の練習でどこまでできるのだろうと始まる前は不安がありました。周りを見ずに何気なく練習に取り組んでいた時に、「行事はつくり上げる過程が大切なのだ。そこが全力であるからこそ、本番が輝く」と体育主任が投げかけた言葉にはっと思ひ、自分を見直した生徒たち。その言葉を改めて胸にしっかりと刻み、自分で考え、自分の気持ちで行動しなければ何も成し遂げられないという思いで生徒たちの目の輝きはもう一段アップしました。

日に日に素晴らしいスピードで成長していく一年生。昨年の経験を活かして、懸命に一年生を引っ張り、完成を目指した二年生。いよいよ自分たちの番だと「私たちの背中を見て」という気持ちで、全力で踊る十一代目の三年生。

今年も、先輩たちから受け継いできた素晴らしい一つの伝統が守られ、さらに輝きを増して受け継がれた体育大会となりました。

リズムダンスしやうス〜咲さ〜
一、二年女子

先輩方のリズムダンス

一年七組 中村 心実

私はリズムダンスでの練習で意識した点があります。めりはりをつけることを特に意識しました。止めるところは静止画のように止まり、楽しく踊るところは笑顔で踊ると一つ一つの動きがきれいに見えるからです。

二年生の先輩方が踊る姿は、一つ一つの動きもそろっていて楽しんで踊っているように見えました。来年のリズムダンスでは、先輩方が背中で見せてくださったように、自分たちの成長した姿を見せられるようになりたいです。そして、先輩を超えるようなダンスをしたいです。



華麗なCジャンプ!

演舞かいせい〜快晴かいせい〜
一、二年男子

演舞での成長

二年六組 曾我 陸斗

僕は前に出ることが苦手でしたが、この演舞を通して成長していきたくてという思いで演舞リーダーをやりました。初めは緊張したり、どのように話したらいいのか困ったりしました。しかし、先生や一、二年生のみんながアドバイスをくれたり、後押ししてくれたりしたおかげで数少ない全体練習でだんだん自信をもてるようになりました。

本番では、練習と比べて、はるかにみんなの声や気迫が伝わってきた、最高の演舞ができた「おどる」に、今年のこの頑張りをつなげていきたいです。



気合いMAX! 「どうだー!」

第十一代「夢おどる」

二百五十五人の「挑」

「夢おどる」リーダー

三年二組 戸叶 柚衣

「なぜ夢おどるをやるのか。」そう聞かれたとき、すぐに答えられない自分がいた。「全力で挑もう」と心の底から思っているのに何かが足りない。それは、「夢おどる」をやる理由や意味を理解していなかったからだと気付いた。何のために、誰のために「夢おどる」をやるのか。一人一人が答えを見つけた瞬間、動きも声も表情も変わり、これが本当の「夢おどる」なのだと分かった。

私たちは限られた時間の中で常に挑み続けた。この経験を心に刻み、これからも前を向いて挑み続けていきたい。

体育大会新記録

●二年男子ハンドボール投げ

安立丞輝 記録四〇m二〇cm

●二年男子四×二〇〇mリレー

平田快斗 林 優翔

山下焯音 テヌワラ禪太タヌカ

記録 一分四六秒三

後期委員会活動

緑化委員会の活動

緑化委員長

三年三組 家田萌々香

緑化委員の主な仕事は、毎朝花壇の花や木に水やりをすることと、掃除の時間に花壇の草取りをすることです。また、委員会の活動時間には、普段の掃除ではできない場所の草取りを行っています。

緑化委員会というと、草取りをしている委員会だと思われがちですが、花の種や苗をどこに植え、どのように増やしていくかということも考えています。校内の花、木、草などのバランスを考えながら、緑化委員のみんなで美しい学校をつくってみたいですね。

表彰記録

十月号に新人戦の水泳個人の記録を掲載していませんでした。申し訳ありません。

水泳男子

一〇〇mバタフライ 服部羽恭 優勝

五〇m平泳ぎ 杉村斗彌 2位

水泳女子

一〇〇m平泳ぎ 内山朝陽 優勝

五〇m平泳ぎ 野田優衣乃 2位

一〇〇m背泳ぎ 遠山穂香 3位